

(別紙報告様式)

鳥獣被害防止総合対策事業の評価報告(令和6年度報告)

市町名: 庄原市

1 事業評価報告

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始 時期	利用率・ 稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績									事業実施主体の評価			
										獣種	被害金額			被害面積			処理頭数					
											目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値				達成率
庄原市有害鳥獣対策協議会	庄原市	R3	イノシシ カラス サル	侵入防止柵設置	7,321m	地元集落 協議会	R3.11 R3.12	100% 100%	侵入防止柵・箱わ なの設置による一定 の効果は出てきてい るが、イノシシの個体 数が増加傾向にある ため、農作物被害、 捕獲数は増加してい る。	イノシシ	千円 11,566.90	30,741	266%	12.33	ha 31.73	257%	400	598	150%	本市において鳥獣被害は、平成 22年度のイノシシ大量出没による 農作物被害の急増に伴い、本事 業に取り組んできた。その結果、 本事業の効果もあり、鳥獣被害は 26年度には急激に減少し、以降は 横ばい傾向にあった。侵入防止 柵・箱わなの設置による一定の効 果は出てきているが、平成30年か ら令和2年はイノシシによる農作 物被害が増加し、令和2年からは シカによる農作物被害も散見され 始めた。 今後も、個体数の管理、環境整 備及び学習会の開催などソフト面 の充実を図る。		
				ICTの活用による情報管理の効率化	ICTシステム導入	イノシシ	0	18,068		皆増	0	3	皆増									
		R4	サギ類・カワ シカ	箱わな導入	7基	協議会	R4.10	100%		サギ類・カワ	17,432.10	0	-	0	0	-						
				侵入防止柵設置	38,180m	地元集落	R5.3	100%		シカ	0	810	皆増	0	1.52	皆増						
		R5	ツキノワグマ	アライグマ ヌートリア	箱わな導入	5基	協議会	R6.2		100%	ツキノワグマ	132.2	0	-	0.09	0					-	
ジビエ等の利用拡大に向けた地域の取組	国産ジビエ衛 生管理研修会				協議会	R5.12	100%	アライグマ	0	171	皆増	0	0.01	皆増								
			その他獣類	侵入防止柵設置	10,275m	地元集落	R6.2	100%	その他獣類	0.9	67	7444%	0	0.04	皆増							

注1)被害金額及び被害面積の目標欄については、対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載してください。

注2)達成率の算出方法については「実績値(=基準年値-実績値)÷目標値(=基準年値-目標値)」であるとして算出してください。

注3)被害防止計画の目標と実績の処理頭数の欄については、「ジビエ等の利用拡大に向けた地域の取組(販売拡大支援)」のメニューを活用した場合に記載してください。

2 第三者の意見

コメント: 渡辺浩毅(広島県北部農林水産事務所林務第一課長)
侵入防止対策や効果的な捕獲により、イノシシによる被害が最大時から大きく減少しており、一定の成果を上げられています。イノシシによる被害はなお高水準にあり、また、分布が拡大しているニホンジカなど他の鳥獣による被害も発生しているため、引き続き被害防止対策に取り組む必要があると考えます。